

「まちの歴史」

50周年を迎えて

岡垣町がこの地に産声をあげ、今年で50周年。今、その歴史を振り返る。

日本が近代化に向かった時代、岡垣町の歴史がはじまった

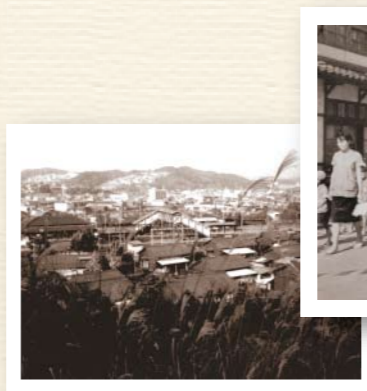
岡垣町誕生。

明 治40(1907)年、おがた岡垣村、わかた羽村の両村合併により発足した岡垣村は、昭和37(1962)年10月1日、55年の歳月を経た村制に終止符を打ち、人口15,221人、2,780世帯の岡垣町が誕生しました。

町制施行日には、朝から高倉神社にて「町制施行報告祭」が行われ、岡垣町誕生を祝う雰囲気は満ちあふれていました。さらに、海老津と吉木の商店街では万国旗が飾られ、町制施行記念売出しなどで賑わいました。



▲昭和52年ごろ 岡垣中学校とその周辺



▲昭和40(1965)年 海老津駅とその周辺



▲昭和37(1962)年 町制施行旗行列

発展への道筋

潤い豊かなまちをめざし、まちの基盤を形成

昭

和40年代以降、力を注いできた宅地開発によって、町外からの転入者が急増しました。これは都市近郊の「ライフタウン」としての発展を意味し、今日の高い定住志向の礎となりました。



▲昭和45(1970)年 新庁舎完成

明治40(1907)年に建てられた旧役場の老朽化を懸念して建設された新庁舎は、長期間にわたる議論の末に完成し、新たなまちづくりの拠点として始動しました。

●岡垣町長期総合計画

日本の地域経済社会は、人口の急激な移動に象徴されるように激しく変動し、市町村の行政に深刻な影響を与えていました。岡垣町では、北九州都市圏・福岡都市圏の変貌などの諸問題に対処するため、まちの進むべき方向と将来を予測し、住民の福祉向上につながる施策を総合的に整理しました。



▲昭和37(1962)年 町制施行祝賀会

岡垣中学校講堂で行われた記念式典には、福岡県知事をはじめ、町内外から200名を超える来賓の方々が参列しました。

| 昭和56年 | 昭和55年 | 昭和54年 | 昭和53年 | 昭和52年 | 昭和51年 | 昭和50年 | 昭和49年 | 昭和48年 | 昭和47年 | 昭和46年 | 昭和45年 | 昭和44年 | 昭和43年 | 昭和42年 | 昭和41年 | 昭和40年 | 昭和39年 | 昭和38年 | 昭和37年 | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 7月 | 4月 | 3月 | 2月 | 10月 | 9月 | 6月 | 4月 | 3月 | 3月 | 4月 | 4月 | 3月 | 10月 | 9月 | 6月 | 12月 | 10月 | 3月 | 12月 | 10月 | 6月 | | |
| 中央公民館に弓道場を設置 集中豪雨で民家流出11戸、被害額12億円 糠塚地区に遠賀郡農協の大型乾燥貯蔵調整施設(カントリーエレベーター)完成 | 海老津駅前広場開発計画まとまる 住民基本台帳電算処理を開始 国勢調査、人口25,327人、7,000世帯 福岡銀行岡垣支店開設 | 老人憩の家「乳垂荘」開設 海老津駅前広場開発計画まとまる 住民基本台帳電算処理を開始 国勢調査、人口25,327人、7,000世帯 福岡銀行岡垣支店開設 | 町制15周年記念祝賀式 上水道山間部を除く町内全域に給水開始 西部公民館を開設 岡垣有線ラジオ放送開始 国道3号岡垣バイパス工事着工 岡垣対地射撃場、自衛隊より返還 町民総合グラウンド完成 遠賀・中間地域広域行政事務組合設立 老人憩の家「乳垂荘」開設 海老津駅前広場開発計画まとまる 住民基本台帳電算処理を開始 国勢調査、人口25,327人、7,000世帯 福岡銀行岡垣支店開設 | 浄水場施設完成 町民体育館落成 海老津小学校開設 西日本相互銀行海老津支店開設 有線放送の設置工事始まる 町制15周年記念祝賀式 上水道山間部を除く町内全域に給水開始 西部公民館を開設 岡垣有線ラジオ放送開始 国道3号岡垣バイパス工事着工 岡垣対地射撃場、自衛隊より返還 町民総合グラウンド完成 遠賀・中間地域広域行政事務組合設立 老人憩の家「乳垂荘」開設 海老津駅前広場開発計画まとまる 住民基本台帳電算処理を開始 国勢調査、人口25,327人、7,000世帯 福岡銀行岡垣支店開設 | 中央公民館を開設 県立療養所が県立病院と改称し、消化器科・循環器科を増設 戸切地区に町営住宅を建設 老人憩の家「若潮荘」開設 射撃場5年以内の返還を閣議決定 宗像信用組合岡垣支店開設 岡垣町土地開発公社を設立 用途地域を決定 地域集団電話を一般電話に切替開始 東部公民館を開設 町営無料駐車場を海老津駅下に設置 中部保育所開設 国勢調査、人口21,483人、5,601世帯 戸切小学校子供郵便局、郵政省貯金局長賞を受賞 内浦小学校、九州地域緑化推進大会で功労賞を受賞 海老津台団地造成始まる 浄水場施設完成 町民体育館落成 海老津小学校開設 西日本相互銀行海老津支店開設 有線放送の設置工事始まる | 中央公民館を開設 県立療養所が県立病院と改称し、消化器科・循環器科を増設 戸切地区に町営住宅を建設 老人憩の家「若潮荘」開設 射撃場5年以内の返還を閣議決定 宗像信用組合岡垣支店開設 岡垣町土地開発公社を設立 用途地域を決定 地域集団電話を一般電話に切替開始 東部公民館を開設 町営無料駐車場を海老津駅下に設置 中部保育所開設 国勢調査、人口21,483人、5,601世帯 戸切小学校子供郵便局、郵政省貯金局長賞を受賞 内浦小学校、九州地域緑化推進大会で功労賞を受賞 海老津台団地造成始まる 浄水場施設完成 町民体育館落成 海老津小学校開設 西日本相互銀行海老津支店開設 有線放送の設置工事始まる | 中央公民館を開設 県立療養所が県立病院と改称し、消化器科・循環器科を増設 戸切地区に町営住宅を建設 老人憩の家「若潮荘」開設 射撃場5年以内の返還を閣議決定 宗像信用組合岡垣支店開設 岡垣町土地開発公社を設立 用途地域を決定 地域集団電話を一般電話に切替開始 東部公民館を開設 町営無料駐車場を海老津駅下に設置 中部保育所開設 国勢調査、人口21,483人、5,601世帯 戸切小学校子供郵便局、郵政省貯金局長賞を受賞 内浦小学校、九州地域緑化推進大会で功労賞を受賞 海老津台団地造成始まる 浄水場施設完成 町民体育館落成 海老津小学校開設 西日本相互銀行海老津支店開設 有線放送の設置工事始まる | 中央公民館を開設 県立療養所が県立病院と改称し、消化器科・循環器科を増設 戸切地区に町営住宅を建設 老人憩の家「若潮荘」開設 射撃場5年以内の返還を閣議決定 宗像信用組合岡垣支店開設 岡垣町土地開発公社を設立 用途地域を決定 地域集団電話を一般電話に切替開始 東部公民館を開設 町営無料駐車場を海老津駅下に設置 中部保育所開設 国勢調査、人口21,483人、5,601世帯 戸切小学校子供郵便局、郵政省貯金局長賞を受賞 内浦小学校、九州地域緑化推進大会で功労賞を受賞 海老津台団地造成始まる 浄水場施設完成 町民体育館落成 海老津小学校開設 西日本相互銀行海老津支店開設 有線放送の設置工事始まる | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 | 湯川山に電電公社無線塔設置 第1次長期総合計画を策定 射撃場日本に返還 |



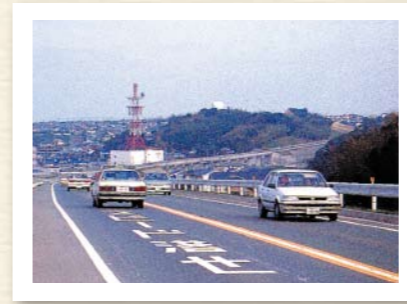
▲平成9(1997)年 いこいの里落成式



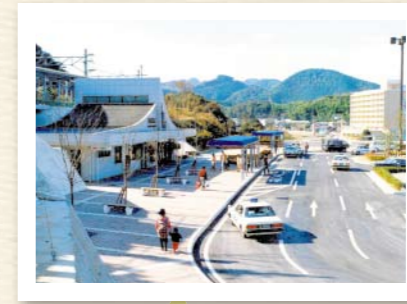
▲平成4(1992)年 海がめ調査開始



▲平成3(1991)年 第1回まつり岡垣開催



▲平成2(1990)年 国道3号岡垣バイパス開通



▲昭和63(1988)年 海老津駅前広場完成



▲昭和58(1983)年 浄水場横貯水池完成

●岡垣町第三次総合計画

基本理念

自然と都市との調和
新しいふるさとの創生

人口の高齢化、情報の高度化、経済社会の国際化が急速に進展する一方、「地方の時代」のもと魅力あるふるさとの形成と地域活性化のための施策が求められました。岡垣町では、個性を生かした施策を実施するとともに、まちづくりを担う人材を育てるひとづくりにも力を注ぎました。



海がめの生息は海辺の環境指標ともいわれます。これを保全することが、人が豊かに生きることにつながる信じ、次代に向けて守り続けなくてはなりません。

海がめの生息は海辺の環境指標ともいわれます。これを保全することが、人が豊かに生きることにつながる信じ、次代に向けて守り続けなくてはなりません。

海

がめの産卵調査やラプアースクリーニングなど、海がめがまわりに帰ってくるよう願いをこめた活動を平

海がめもかえる町

人と自然が共生する環境を次代に受け継ぐ



平成5(1993)年 岡垣サンリーアイ第1期施設落成式

町内外広域における学習、文化、スポーツ、レクリエーションの振興、福祉向上を願って建設された「岡垣サンリーアイ」の記念式典や披露パーティーが華やかに行われました。

●第2次岡垣町長期総合計画

将来像

安らぎと文化がかおる
機能性豊かな田園都市

高度経済成長社会、オイルショック、多様化する住民要求の高まりなど、社会情勢は大きく変貌しました。岡垣町では、恵まれた立地条件を背景に人口が急増し、都市化への道を歩み、21世紀を見据えた土地利用の在り方への対応など、長期的展望に立ったまちづくりを推進しました。



▲昭和57(1982)年 町制施行20周年記念式典

町制施行20周年記念式典では、歴代町長・助役などの行政功労者や一般功労者のほか、町内の最高齢者及び最高齢夫婦がそれぞれ特別表彰を受け、260名の出席者による盛大な祝福を受けました。

Timeline table with columns for years (e.g., 昭和57, 昭和58, 昭和59, 昭和60, 昭和61, 昭和62, 昭和63, 平成元年, 平成2年, 平成3年, 平成4年, 平成5年, 平成6年, 平成7年, 平成8年, 平成9年, 平成10年) and months (10, 8, 5, 4, 2, 12, 11, 6, 5, 3, 9, 6, 5, 4, 3, 10, 5, 4, 3, 1, 10, 7, 7, 3, 11, 6, 5, 2, 1, 10, 8, 4, 3, 11, 10, 8, 7, 4, 12, 9, 8, 7, 6, 4, 2, 9, 7, 5, 4, 10, 4, 3, 3, 6, 2, 8, 2, 11, 7, 5, 3). Each cell contains a specific event description.

先駆者たちの苦勞と努力の結晶 まちが誇る 「高倉びわ」の歴史

昭

和初期、郡内他町村より山林畑の割合が高い岡垣町では、ビワミカンなどの樹園地化が急速に進みます。中でも有名なのが「高倉びわ」です。

明治36(1903)年に千葉県から田中種のビワの苗を20本ほど取り寄せたことがはじまりで、大正時代になると、湯川や内浦・手野、三吉、上畑などでも栽培されるようになり、平成14(2002)年には、高倉びわ百周年記念事業も行いました。先駆者たちの苦勞と努力の甲斐あって、今では県内最大のビワ産地となりました。



平成16(2004)年 情報プラザ「人の駅」落成式



平成16(2004)年 こども未来館開館



平成19(2007)年 岡垣サンリーアイ利用者300万人突破



平成22(2010)年 緊急防災無線開局



平成14(2002)年 町制施行40周年記念式典 町制施行40周年記念式典は、「まつり岡垣」と同時開催で、さらにはNHKのど自慢を記念事業として行うなど、町民の皆さんの心に残る40周年となりました。

●岡垣町第4次総合計画

基本理念 人と自然の やさしいハーモニー

バブル経済の破綻にはじまる長期の景気低迷から、国・地方を通じて財政状況が悪化し、地方分権の進展、合併問題、三位一体の改革など、地方自治を取り巻く環境が激変しました。激動の時代を乗り越え、自主・自立をめざす岡垣町は、住民と行政による協働のまちづくりに向けて歩みはじめました。



50年にわたる 町の歴史を後世へ 半世紀の輝き

町

制施行50周年。今の岡垣町を築いてきた先人たちが遺した功績への深い感謝に包まれながら、岡垣町は50歳を迎えました。半世紀の節目として、町制50周年記念事業

では、記念式典をはじめ、金刀毘羅山への記念植樹などを行い、まち全体でその歩みを祝います。

まちの歴史や文化、魅力を改めて見つめ直すとともに、これを契機にさらなる飛躍を誓い、岡垣町は明るい未来へと向かって新たな歩を踏み出します。

平成22(2010)年 海老津駅開業100周年

開業100周年を記念して行われた駅前セレモニーには多くの方が集まり、まちの交通を支えてきた海老津駅は地域の皆さんに見守られながら100周年を迎えました。



●岡垣町第5次総合計画

基本理念 住みたい・住み続けたい・みんなが輝く元気なまち 岡垣

住民のニーズや社会の動きに対応するため、これまで第1次から第4次総合計画を策定し、「住みやすいまち」として評価を受け、人口も緩やかに増加しています。まちづくりに最も重要な【人の力】を育て、岡垣町の次代を担う世代に責任を持てるまちづくりに取り組んでいます。



Timeline table from 平成11年 to 平成24年 with monthly events.